

草の根・人間の安全保障無償資金協力(案件化調査)、インド国 高性能定温輸送容器によるワクチン及び臨床検体・治験検体の輸送品質改善に関する調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社スギヤマゲン・株式会社東京医療コンサルティング共同企業体
- 提案企業所在地：東京都文京区本郷2-34-9
- サイト・C/P機関：外務省、カルナトラスト Karuna Trust(ローカルNGO)

インドの開発課題

- ワクチンの凍結と温度逸脱による廃棄が問題となっている。
- UNICEFのワクチンハンドラーが守るべきマニュアルの教育が、コールドチェーン・マネジメントの末端まで行き届いていない。
- コールドボックスの供給は潜在的に不足している。

中小企業の技術・製品

- 温度保持性能試験では、48°Cの外気温で4日程度、「+2°C~+8°C」の容器内温度を維持できる高性能容器である。
- ワクチンを凍らせることがないため(フリーズフリー)、ワクチン廃棄の防止に大きな効果がある。
- 試用手順、準備が簡単である。



企画書で提案されているODA事業及び期待される効果

- ODAスキームとしては、草の根・人間の安全保障無償資金協力を活用する。
- ワクチンの確実な接種実施の推進とワクチン廃棄によるムダの削減を図る。

日本の中小企業のビジネス展開

- インド主要都市での市場調査と現地協力代理店の選定・育成を行う。
- 調査～営業活動の中で、現地生産委託先の探索・選定も行い、状況に応じて現地生産開始に向けて準備を進める。

